

◆Mail API でメールを送信する

<https://cloud.google.com/appengine/docs/standard/java/mail/sending-mail-with-mail-api?hl=ja>

[https://github.com/GoogleCloudPlatform/java-docs-](https://github.com/GoogleCloudPlatform/java-docs-samples/blob/2e5996c68440134a79f1511c57529fa5cf987628/appengine-java8/mail/src/main/java/com/example/appengine/mail/MailServlet.java)

[samples/blob/2e5996c68440134a79f1511c57529fa5cf987628/appengine-](https://github.com/GoogleCloudPlatform/java-docs-samples/blob/2e5996c68440134a79f1511c57529fa5cf987628/appengine-java8/mail/src/main/java/com/example/appengine/mail/MailServlet.java)

[java8/mail/src/main/java/com/example/appengine/mail/MailServlet.java](https://github.com/GoogleCloudPlatform/java-docs-samples/blob/2e5996c68440134a79f1511c57529fa5cf987628/appengine-java8/mail/src/main/java/com/example/appengine/mail/MailServlet.java)

Java 用の Mail サービス API では、メール メッセージを送信する JavaMail (javax.mail) インターフェースがサポートされています。

このソリューションは推奨されません。このページでは、App Engine サービスの使用方法を説明しますが、現在は別のサービスが優先されています。このサービスを使用するアプリは Java 8 ランタイム以外で実行できないため、Java 11 ランタイムへの移行前に、推奨されるソリューションにアップグレードする必要があります。

始める前に

送信者のメールアドレスを承認済み送信者として登録します。詳細については、メールを送信できるユーザーをご覧ください。

メールを送信する

メール メッセージを送信するには、App Engine SDK に含まれている JavaMail クラスを使用します。

JavaMail セッションの作成時に SMTP サーバー構成を指定しないと、App Engine は Mail サービスを使用してメッセージを送信します。または、サポートされているサードパーティのメール プロバイダ (Mailgun、Mailjet、SendGrid など) の SMTP 構成を追加します。

メールを送信するには:

JavaMail Session オブジェクトを使用してメッセージを作成します。

MimeMessage オブジェクトを作成します。

InternetAddress クラスを使用して、メッセージの送信者と受信者を設定します。

MimeMessage オブジェクトで `setFrom()` メソッドを呼び出し、送信者を指定します。2 番目のパラメータに文字列として個人名を指定することもできます。

受信者の種類とアドレスを `addRecipient()` メソッドに渡すことで、受信者を識別します。受信者のタイプは `Message.RecipientType.TO`、`Message.RecipientType.CC`、または `Message.RecipientType.BCC` です。

メールアドレスが無効な場合、`InternetAddress` コンストラクタが `AddressException` を発生させます。

返信先のアドレスを設定するには、`setReplyTo()` メソッドを使用します。

MimeMessage オブジェクトでメソッドを呼び出して、メッセージの内容を作成します。`setSubject()` で件名を設

定し、`setText()` で平文形式のメッセージ本文を設定します。

メッセージを送信するには、`Transport` クラスの静的メソッド `send()` を使用します。

Mail サービスでは、送信するメールに特定のヘッダーを使用できます。詳細については、使用可能なオプションヘッダーをご覧ください。

以下に、メールを送信するコードの例を示します。

`appengine-java8/mail/src/main/java/com/example/appengine/mail/MailServlet.java` [GitHub](#) で表示

```
Properties props = new Properties();
Session session = Session.getDefaultInstance(props, null);

try {
    Message msg = new MimeMessage(session);
    msg.setFrom(new InternetAddress("admin@example.com", "Example.com Admin"));
    msg.addRecipient(Message.RecipientType.TO,
        new InternetAddress("user@example.com", "Mr. User"));
    msg.setSubject("Your Example.com account has been activated");
    msg.setText("This is a test");
    Transport.send(msg);
} catch (AddressException e) {
    // ...
} catch (MessagingException e) {
    // ...
} catch (UnsupportedEncodingException e) {
    // ...
}
```

Mail サービスの呼び出しは非同期で、すぐに制御を返します。Mail サービスは、受信者のメールサーバーに接続し、メッセージを送信するプロセスを管理します。メッセージの送信で問題が発生した場合や、メールサーバーがバウンス メッセージを返した場合、エラー メッセージが送信者に表示されます。

マルチパート メッセージを送信する

ファイルが添付されたメッセージや、プレーン テキストの本文と HTML メッセージの本文から構成されるメッセージは、マルチパート メッセージとして送信できます。

マルチパート メッセージを送信するには:

パートを格納する `MimeMultipart` オブジェクトを作成して、添付ファイルまたは別のメッセージ本文を格納する `MimeBodyPart` オブジェクトを作成し、それをコンテナに追加します。

MimeMessage のコンテンツにコンテナを割り当てます。

以下に、マルチパート メッセージを送信するコードの例を示します。

appengine-java8/mail/src/main/java/com/example/appengine/mail/MailServlet.javaGitHub で表示

```
String htmlBody = "";           // ...
```

```
byte[] attachmentData = null; // ...
```

```
Multipart mp = new MimeMultipart();
```

```
MimeBodyPart htmlPart = new MimeBodyPart();
```

```
htmlPart.setContent(htmlBody, "text/html");
```

```
mp.addBodyPart(htmlPart);
```

```
MimeBodyPart attachment = new MimeBodyPart();
```

```
InputStream attachmentDataStream = new ByteArrayInputStream(attachmentData);
```

```
attachment.setFileName("manual.pdf");
```

```
attachment.setContent(attachmentDataStream, "application/pdf");
```

```
mp.addBodyPart(attachment);
```

```
msg.setContent(mp);
```

セキュリティ上の理由から、メッセージ部分と添付ファイルには許可されたタイプを使用してください。また、ファイル名の最後には、そのタイプで認識されている拡張子を付けてください。許可されるタイプとファイル名の拡張子の一覧については、添付ファイルを含むメールをご覧ください。